



平成26年度水道技術者ブロック別研修会（札幌市：6月3日～4日、秋田市：6月5日～6日、甲府市：6月10日～11日、豊橋市：6月12日～13日、高松市：6月17日～18日、奈良市：6月19日～20日、長崎市：6月26日～27日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者約530名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質管理」、特別講演「水道事業におけるアセットマネジメント～簡易支援ツールを使って～」について研修を実施した。

平成26年度漏水防止講座（東京会場第1回：6月16日～18日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々56名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探査技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義があり、3日目には、漏水防止関連機器を使用しての実地研修を行った。

平成26年度水道事業事務研修会（経営部門、Aコース：6月17日～20日）

水道事業体及び賛助会員の事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々81名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・同演習」、「水道料金・同演習」、「経営分析・同演習」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

平成26年度第2回理事会（6月24日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第84回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」、第3号議案「公益社団法人日本水道協会第85回総会の開催及び開催通知の送付」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第84回総会（6月24日）

第84回総会が、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、来賓、会員、関係者約450名の参加を得て、盛大に開催された。

開会式においては、日本水道協会を代表して尾崎理事長から挨拶があり、次いで厚生労働省健康局長（代理：宇仁菅健康局水道課長）、総務省自治財政局長（代理：廣澤自治財政局公営企業経営室長）から来賓祝辞があった。



開会式



本協会代表挨拶：
尾崎理事長



厚生労働省健康局長祝
辞：宇仁菅健康局水道
課長



総務省自治財政局長祝
辞：廣澤自治財政局公
営企業経営室長



監査報告：飯嶋監事

開会式の後、定款の定めにより尾崎理事長が議長となり議事に入った。
報告事項として「平成26年度会計予算」について、配布資料に基づく詳細な説明があった。
続いて議案として「平成25年度公益社団法人日本水道協会会計決算の認定」について、事務局より提案資料に基づく詳細な説明があり、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。
なお、事務局の説明に続き監事を代表して飯嶋宣雄氏から監査報告があった。
休憩の後、「岐路に立つ水道事業 ～激変する経営環境を迎えて～（講師：水道耐震化プロジェクト会議議長・元東京都公営企業管理者・本協会元専務理事 赤川正和氏）」と題した特別講演を開催した。（特別講演の速記録は、本誌9月号に掲載予定）



特別講演「岐路に立つ水道事業 ～激変する経営環境を迎えて～」



講師：本協会元専務理事
赤川正和氏

第91回検査事業委員会（6月27日）

はじめに、議題1「正副委員長の選出について」を事務局より上程し、委員長には今井東京都水道局建設部長、副委員長には柳生大阪市水道局浄水統括担当部長が選出された。

次に、平成25年度検査事業の概況について事務局より報告を行い、了承された。

その後、議題2「第90回検査事業委員会議事録について」を上程し、事務局より説明を行い、了承された。

続いて議題3「検査工場の不正行為に関する処分について」を上程し、事務局より説明を行い、慎重審議の結果、了承された。



第929回会誌編集委員会（6月30日）

本誌7月号、8月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

平成26年度水道事業事務研修会（経営部門、Bコース：6月30日～7月4日）

水道事業体の事務系職員（水道歴概ね3年以上）の方々51名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「水道経営」、「予算及び決算・同演習」、「水道料金・同演習」、「経営分析・同演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会最終日にグループ別のディスカッションを行ない、活発な情報交換が行われた。

第72回中小規模水道問題協議会（7月1日）

はじめに、清野石狩市建設水道部水道施設課長による「持続可能な水道事業運営と料金値上げ」と題した講演を行った。

次にメンバー都市及び事務局から提案された、情報交換事項①「簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う取得資産の取扱いについて」、②「道路・河川管理者以外からの水道管移設要請に伴う補修工事費の算出について」、③「私債権管理条例制定状況及び遅延損害金の徴収方法について」、④「36協定に基づく協議の実態について」、⑤「地下水併用の大口径使用者への対応について」、⑥「小規模集落や水道未普及地域への水供給の対応について」、それぞれ情報交換を行った。



続いて事務局より、「企業職員の36協定の必要性について」及び「下水道使用料納入通知書の教示状況について」の報告を行い、最後に「自由民主党水道事業促進議員連盟所属議員への個別陳情活動について」及び「水道耐震化推進プロジェクトの活動（「命の水 住民協働キャンペーン（仮称）案）」について」の説明を行った。

続いて事務局より、「企業職員の36協定の必要性について」及び「下水道使用料納入通知書の教示状況について」の報告を行い、最後に「自由民主党水道事業促進議員連盟所属議員への個別陳情活動について」及び「水道耐震化推進プロジェクトの活動（「命の水 住民協働キャンペーン（仮称）案）」について」の説明を行った。

平成26年度浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第2回：7月1日～4日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第684回抄録委員会（7月2日）

本誌9月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

配管設計講習会（関西会場、九州会場第1回：7月2日～4日）

水道事業体及び設計業者の方々108名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

第2回水道事業ガイドラインに関する規格専門委員会（7月3日）

はじめに、議題1「正副委員長の互選」を行い、委員長に狩野東京都水道局総務部施設計画課長を、副委員長には田中大阪市水道局工務部計画課長を選出した。

次に、議題2「水道事業ガイドライン（JWWA Q 100）の改正」について、規格改正の検討方針について審議を行った。

未納料金対策実務研修会（東京会場第1回：7月10日～11日）

水道事業及体及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々75名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

水道協会雑誌平成26年7月号掲載記事の訂正について

本誌平成26年7月号に掲載いたしました「会員消息」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

75頁

<正>

兵庫県支部	228002尼崎市（水道局）	管理者：水道事業管理者 藤田 <u>末</u> 廣
-------	----------------	------------------------------

<誤>

兵庫県支部	228002尼崎市（水道局）	管理者：水道事業管理者 藤田 <u>松</u> 廣
-------	----------------	------------------------------